

今日の説教のポイント <マタイによる福音書 12 章 1~8 節>

①信仰を持つ目的は何？ 正しさの追求？

信仰を持つとはどういうことでしょうか？ 間違っただけをしないで正しいことをする人になること、と思いませんか？ 「安息日にはならないことをしている」(2)と言ってイエス様の弟子たちを責めたファリサイ人はまさにそう思っていたようです。しかし、彼らは弟子たちに「してはならないことをした」と罪を指摘したつもりだったでしょうが、イエス様は彼らに向かって「あなたたちは罪もない人たちをとがめた」(7)と言われました。人の罪を指摘したつもりが、逆に、自分が罪を犯していると指摘されたのです。どういうことでしょうか？

②「休ませてあげよう」と呼びかけて下さるイエス様

この直前の箇所ではイエス様が、「**疲れた者、重荷を負う者は、だれでも私のもとに来なさい。休ませてあげよう**」(11:28)と言われました。イエス様が招いて下さっているのは正しい人ではなく、むしろ疲れている人、重荷を追っている人なのです！ 「だれでも」とも言われています。条件はないのです。ただ本当に疲れている人、重荷を負っている人、それが条件と言うなら条件です！

③なぜ休ませてもらえるのか？ 主の轡が負いやすい理由

他人の姿にいつも目を光らせていては安らぎはありません。現代社会はまさにそういう社会です。そのような疲れ、重荷から解放してくれるのが信仰なのです！ それはなぜでしょうか？

イエス様は、「**私の轡（くびき）を負い、私に学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。私の轡は負いやすく、私の荷は軽いからである**」(11:29-30)と語りかけられます。ここでイエス様は、二頭の牛が並んで引く荷車をイメージしておられと言われています。私が轡をつけて引く重荷はもちろんある。しかし、私の横で神様も並んで引いて下さる。私が疲れて引けない時、神様が私の分も引いて下さる！ 私にだけ頑張れと言われる神様ではない！ 聖書のこの神様を覚えて生きて行く中で、他人や自分を見て生きる生き方から、この神様を見て生きていく生き方に変えられて行くのです！